

支部強化委員会

1月13日
グランドアーク半蔵門
出席委員8人ほか

各支部、会員10社増を目標

北海道、東北、東京都・関東、中部、近畿、中国・四国、九州の7支部の支部長・役員、事務所長、本部側から深谷会長、白石良二委員長らが出席した。

各支部の10年度の活動状況が報告された。09年度に引き続き不正対策勉強会を通じた活動が目立った。北海道支部や東北支部のように地元組合との共同開催もあり、新年度も続けるとしている。社会貢献活動では、老人ホーム慰問、障害者等のホール招待、清掃活動が行われた。AEDの使い方を中心とした救急救命研修会が2支部で行われた。会員獲得のため、親睦ゴルフコンペの開催があった。

支部の増強策が話し合われた。「会員以外の人たちに、日遊協に入ることのメリット、横断的組織としてのメリットがもっと見えるように工夫すべきだ」「例えば、『セキユリティーなら日遊協』などの特色を打ち出せないか」「催し物には積極的に会員以外の人たちを呼び、

そのあと必ずフォローすることが大切」新会員を勧誘するためには支部長の信頼度が重要だが、一方で支部長におんぶにダッコではない

けない。支部執行部を強化しなければ動きがとれない」などの指摘があった。「会員以外の人たちと接していると、『日遊協は業界の良心だ』とも認めてくれているように感じる。日遊協の信頼度、透明度は高い」という意見もあった。

支社・支店へ参加呼びかけ

11年度の支部強化目標として、①各支部で10社ぐらいの会員増を図ること ②現行では隔月開催となっている役員会などの会合を毎月開催にすること ③催し物につ



11年度の取り組みを議論した支部強化委員会

いては本部が積極的に協力するので相談すること ④催し物に際しては会員勧誘活動も一緒に行い、必ずフォローアップすること ⑤メーカー会員や大手ホール会員に対して、支社・支店等の役員の地元支部活動への参加を要請していくこと——などを確認した。また、東京都・関東支部は昨年9月に行なった皇居勤労奉仕活動を今年も実施する予定だが、他支部からの参加希望も多く、全国的に参加者を募ることになった。

広報委員会

1月20日
本部会議室
出席委員等13人

「絵手紙」の公開を検討 Shufoo!の説明を聞く

2月末に募集が締め切られる「第1回パチンコ・パチスロ『エッセー・絵手紙』コンクール」の応募状況が報告された。応募された絵手紙作品の扱いを協議した。基本的には選にもれた作品を含めてホームページで公開する意見が多かったが、公開開始の時期、公開作品の選定などで、今後検討することになった。第2回以降も考慮して、

ツイッターを含めた募集の展開について意見交換した。

11年度の活動の一環として、同委員会「発」の広報誌連載企画の進捗状況が報告された。

冒頭、デジタルちらしのポータルサイト「Shufoo!（しゅふー）」を運営している凸版印刷（株）メディア事業開発本部の担当者が内容を説明した。新聞の折り込みちらしを電子化して生活情報として配信する仕組みで、業界、とくにホール関係での利用が可能かどうか検討することになった。

経営改革委員会

1月11日
本部会議室
出席委員等14人

客離れ対策で幅広い意見

ホールの客離れが起きている現状と対策について、フリートーカーで話し合った。産業全般の問題点からホール経営、機械のあり方まで幅広い意見が出た。その結果、具体的なテーマをいくつか絞り、テーマごとに小委員会に分かれて討議し、対策または戦略をまとめて行くことが提案された。

社会貢献・環境対策委員会

1月14日
本部会議室
出席委員等14人

共生の森9月に子供参加案も

11年度の活動計画を協議した。

共生の森については、過去3回の植栽地で2回の下草刈りを行ない、原則として植栽は行なわない。1

回目の下草刈りは6月下旬で、経費を削減するため地元の嵐山町シルバー人材センター、埼玉県森林サポーター倶楽部に委託する。2回目は9月予定の遊技産業マネジメントカレッジの最終日に、カレッジ研修生、ボランティア派遣隊、委員会を行なう。一方で、



11年度の活動を協議した社会貢献・環境対策委員会

この日に子供も呼んで野外食事会、工作教室、ゲーム、小規模なスペースでの記念植樹などのイベントを加える案も出された。

ホール5団体で進めてきたエコホール宣言、エコポスター、省エネノウハウの漫画ポスター、ホームページは、新しいアイデアを出しながら11年度も継続する方向で5団体会議に提案していくことになった。

省エネでアンケートを

2010年度から完全施行された改正省エネ法（エネルギー使用の合理化に関する法律）について、ホール5団体合同で省エネ法アンケート調査を進めることを5団体会議で提案することになった。とくに、全体のエネルギー使用量が年間1500kWh以上の企業は特定事業者の指定を受け、中長期計画書、定期報告書の提出が義務づけられている。アンケート調査の目的は、これら特定事業者を含めて業界全

体の取り組み状況を把握し、エネルギー使用量ならびにCO2排出量削減状況の業界平均値を推計して、全体の改善につなげるとともに必要に応じて支援を行うこととしている。ホール5団体が参画する環境自主行動計画では、CO2排出量（電気使用量）を12年度までに07年度（基準年）比で15%削減する目標を定めている。エネルギー使用量ならびにCO2排出量の削減状況を計算するために5団体は、エネルギー消費については「エネルギー使用量/営業面積」、CO2排出量については「CO2排出量/営業面積」をそれぞれ標準として推奨することに決めている。

3、4、5月に開催される東京都・関東、九州、中部の3つの支部総会の中で、同時開催する「環境フォーラム2011」の展示内容を検討した。

訂作業「不正対策勉強会プロジェクト」「不正をされた際にすぐに報知が行われる開発」の3チームに分かれて、11年度の活動計画を含めて協議した。不正対策マニュアル小冊子は、日遊協が教材用に96年に作成し、その後5回の改訂が行われたが、取り上げている遊技機を含めて内容全体が古くなり、実情にそぐわなくなっていた。3月中に原稿段階での改訂作業を終えるメドが立ったとしている。さらに、予算が許せばDVD化、大判化も提案したいとしている。

遊技機健全化委員会

1月21日
本部会議室
出席委員等17人

「対策小冊子」など進捗不正対策3プロジェクト

「不正対策マニュアル小冊子改

11年度の不正対策勉強会は、より多くの参加者を集めるためできるだけ地元との組合と共同開催に努める方向を確認した。早急に企画案をつくり、次回の委員会（2月18日）までに講師候補のセキュリティティー会社を5社ほど選び、打診したいとしている。不正をされた際にすぐに報知が行われる開発については、先ずパチスロでの共通信号の活用を検討していく。同様にパチンコについての情報収集を進めるとしている。

最近の特徴的な電波ゴトについて、南光國昭委員（株）コスモローム研究所）が報告した。

機種など大筋の確認 2・26試打会

2月26日に一般ファン等を対象に東京・墨田区のすみだ産業会館で開かれる試打会「もつと楽しくもつと遊べる!!ぱちんこ&パチスロフェスタ」2011 in 東京」
スロフェスタ 2011 in 東京」
に関して、大筋の確認作業を行った。



展示するパチスロのコンセプト機を説明（遊技機開発委員会）



ぱちんこ&パチスロフェスタのポスター

出展される機種の中で、パチスロのコンセプト機4機種が持ち込まれ、メーカー側が仕様などを説明した。会場で参加者に聞くアンケート案の内容、遊技機の出展台数、応援人員、時間割などについての確認が行われた。試打会前の2月21日に開かれる委員会で全体の最終確認を行う。

パチンコ班、パチスロ班に分かれて、23年度の委員会の事業計画等について協議した。

（36〜41ページのインタビュー「明日を拓く」に関連記事）

7部門対象に投票 「遊技機アワード」の選考12人

遊技機開発委員会が主催する「遊技機アワード2011」の選考委員会が1月21日、日遊協本部会議室で開かれた。選考委員は同委員会側から吉川篤副会長、茂木欣人

明日の遊技機創造室副室長、鏡味政樹委員長、さらに全日遊連、同友会、余暇進、PCSAから1人



遊技機アワード2011の選考委員会

ずつ、ファン雑誌4社から編集者5人の計12人。

ノミネートされたのは、2010年に導入が開始され、幅広いお客様から指示を得たと思われる機種。パチンコがCRAA部門(59分の1以下)6機種、遊パチCRAA部門(60分の1〜139分の1)29機種、ミドル部門(140分の1〜299分の1)18機種、ハイ部門(300分の1以上)36機種、ハネモノ・その他部門7機種、パチスロがAタイプ部門14機種、Aタイプ以外部門43機種となっている。

選考委員たちは、各部門で1人3票以内を投票した。結果は2月26日に東京・すみだ産業会館で開かれる「もつと楽しく!!もつと遊

べる!!ぱちんこ&パチスロフェスタ 2011」で発表される。

流通制度委員会

1月11日
本部会議室
出席委員等14人

取扱主任・36日程を承認

2011年度の遊技機取扱主任者講習・試験の日程が提示され、承認された。これまで新規、更新の講習・試験が年1回ずつしか開かれなかった北海道地区をはじめ、各地で開催の増加を望む意見が多かったことを受けて、北海道、近畿、九州地区で計4回の新規または更新の講習・試験が増設された。具体的な回数は、札幌会場が新規1、更新2（1回追加）、仙台会場が新規1、更新2、東京会場が新規4、更新7、名古屋会場が新規2、更新3、大阪会場が新規2、更新4（1回追加）、広島会場が新規1、更新2、福岡会場が新規2（1回追加）、更新3（1回追加）となり、合計で更新23回、新規13回となる。

また、12年度に向けての要望として、試験に落ちた人の再試験の可能性を考慮して講習・試験日の設定間隔を広げてほしい等の意見が出された。

ホール5団体風営法検討会の初会合



ホール5団体風営法検討会

たたき台を基に協議へ

風営法改正へ首脳が初会合

ホール5団体風営法検討会の初会合が1月17日、日遊協本部会議室で開かれた。全日本遊技事業協同組合連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団

法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェンソトア協会の5団体から代表者、幹部計21人が出席した。風営法の法令等の改正要望事項について、たたき台を基にグループワークで協議を進めていくことを確認した。

した。

17日の検討会の出席者は次の通り。

〔全日遊連〕原田實理事長、大城正準副理事長、金本正浩同、山本容基同、吉原丈司専務理事

〔同友会〕高濱正敏代表理事、平澤黎哲副代表理事

〔余暇進〕金海龍海副会長、千原行喜同、中村泰明常務理事

〔PCSA〕加藤英則代表理事、中島基之専務理事、森治彦法律問題研究部会リーダー

〔日遊協〕深谷友尋会長、大久保正博副会長、山田久

雄同、阿部恭久同、庄司孝輝同、吉川篤同、篠原弘志専務理事、伊東慎吾常務理事

リサイクル推進委員会

番号管理や解体工程など

業者の問題点指摘を報告

第52回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）が1月18日、日工組会議室で開かれ、今後取り組むべき課題を協議するための、ワーキンググループの第2回会合の内容が報告された。この会合では、リサイクル選定業者（43社）の中から東京大阪の2業者を招き、廃棄台を処理する立場からの意見を聞いた。

業者側からは、「スロットは日電協非加盟メーカーの番号管理が統一されておらず、作業に時間がかかる。とくに、非加盟メーカーの遊技機がまとめて入ってくると、番号管理で大変な作業となる」「スロットのキーがメーカーによって違い、解体時に乱暴にこじ開けなければならぬ場合があって、リサイクル素材に傷をつけてしまう」「プラスチック類はガラス繊維を混ぜたABS樹脂など種類が多く、混同できない。それらを分類するため

サイクル工程が複雑化している」「解体マニユアルが複雑化している。パーツリサイクルが含まれるので乱雑にできないし、メーカーによっては傷なしで取り外さなければ引き取ってもらえない」などの意見があり、1種類のスキヤナーで読み取れるようなQRの共通化、スロットの統一キー化などの要望があった。

買取業者との競合も指摘

また、買取業者（ブローカー）との競合で、遊技機が安定して入ってこない現状も指摘された。

「買取業者とは10000〜20000円の価格差がある」「液晶代に遊技機の価格を上乗せして買い取っている業者が多いようだ」「海外に『ゲーム機』の品目で輸出されているのではないか」との意見が出された。

ワーキンググループは全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商の6団体からのメンバー10人と篠原座長とで構成され、昨年10月に初会合が開かれている。第3回会合（2月17日予定）では、各団体の機歴管理システムについて説明を受ける予定。

「皇居勤労奉仕」を募集に9月下旬

日遊協は今秋9月27日（火）から30日（金）までの4日間、皇居勤労奉仕活動を実施することになり、1月21日、全国の会員に参加希望者の募集を発信した。

皇居勤労奉仕活動は、昨年も9月27日から4日間、東京都・関東支部から20人が参加して実施された。

皇居及び東宮御所で草取り、落ち葉掃除を行い、奉仕活動中に天皇、皇后両陛下、皇太子殿下のご会釈を賜ることができた。

今年の勤労奉仕場所は昨年同様、皇居及び東宮御所。勤労奉仕の条件は、①1人が4日間連続で従事できること②奉仕時間は午前8時から午後4時まで——となっている。年齢制限はなく、服装についての取り決めはないが清掃活動ができる服装であること。

参加希望者は3月25日までに、所定の申し込み用紙で日遊協本部にファックスで申し込む。参加人数については、とくに決めていない。（昨年の皇居勤労奉仕活動については、本誌11月号に既報）

1千5百万円を寄付 子供たちへ「太陽グループ」

北海道内でホール、映画館、レストラン等を展開している(株)太陽グループ（東原俊郎代表取締役社長）は1月20日、札幌市のまちづくりを応援する「さぽーとほっと基金」（札幌市市民まちづくり活動促進基金）に、「子どもたちが健やかに育つための活動に」として1500万円を寄付した。東原社長には上田文雄札幌市長から感謝状が贈られた。

同基金は、札幌市が一般からの寄付を募り、町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動に助成する。

同基金へは昨年度も、同グループと東原社長個人から各1000万円の計2000万円が寄付されている。

締め切り迫る! 第1回 パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール

テーマ（一般、業界ともに同じ）

「パチンコと私」「パチスロと私」「未来のパチンコワールド」

- エッセー、絵手紙ともに、テーマの中から自由に選んで応募して下さい。
- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください。
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください。
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号（携帯も可）を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください。

募集期間 2010年11月1日（月）～2011年2月28日（月）

発表 2011年6月9日（日遊協ホームページ）

エッセー 最優秀賞 旅行券30万円分1人 優秀賞 旅行券10万円分2人

絵手紙 最優秀賞 旅行券15万円分1人 優秀賞 旅行券5万円分2人

その他入賞多数（エッセー佳作2万円分10人、絵手紙佳作1万円分10人）

応募先及びお問い合わせ先

E-mail : bosyu@nichiyukyo.or.jp

社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル2F

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334

応募された個人情報については、個人情報に関して摘要される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません。

主催 社団法人日本遊技関連事業協会 協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会・回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

中部支部新年祝賀会 風営法のもとに改革 深谷会長があいさつ

日遊協中部支部は1月18日、名古屋ガーデンパレスで支部役員会と新年祝賀会を開いた。

新年祝賀会には会員等36人が参加した。山口悟支部長代行のあいさつに続き、来賓の深谷会長が、民主党の業法案に関連して、「ホール5団体が風営法検討会を発足させた。風営法を今一度時代の流れに沿って勉強し、風営法の基に業界があるのだということをもう一度確認しなければならぬ」と述べた。さらに、「どんな外圧が来ようと、どんな話になろうと、パチンコ、パチスロ産業としてしっかりと足を地にかけて活動する事が大事だ。メーカーも流通もホールも新たな構造改革とでもいうか、遊技産業の構造をもう一度考え直さなければいけない。それには現行法を遵守するという立場は崩してはならない」と強調した。

会員・業界消息

●社名・代表者変更

▼高砂電器産業株式会社
(旧・アピリット株式会社)
代表取締役社長・山本哲也
11月1日

●代表者変更

▼株式会社スパイキー
代表取締役社長・板谷稔

11月11日

●住所変更

▼株式会社バナナ
松山市竹原3丁目1・24
マウヴェラス竹原A101

TEL089・989・8877

12月22日から
FAX089・989・8855

▼株式会社高尾

〒454・0816

名古屋市中川区中京南通

3丁目22番地

TEL、FAX変わらず

11月24日から

▼オムロンアミューズメント
株式会社

〒108・0075

東京都港区港南2丁目3・13

品川フロントビル7階

TEL03・6718・3674

FAX03・6718・3670

11月31日より

●新規入会・正会員

▼株式会社東鵬

代表者・高橋雄豪

江戸川区上篠崎4・23・5

▼株式会社ミチウエ

代表者・道上政喜

札幌市北区新琴似574・1

▼昭和商事株式会社

代表者・武田智也

目黒区祐天寺2・11・10

●新規入会・賛助会員

▼セテック株式会社

DATA SPOT

逆転！ ついにパチンコ減、パチスロ増

全日遊連は1月24日、店舗数、遊技機台数の2010年12月分を発表した。遊技機でパチンコが前年同月比でついにマイナスになった。292台減(09年12月292万7190台)で、10年スタートの1月には前年比で10万台以上増えていたのに逆転してしまった。逆にパチスロが前年同月比で1万58台プラス(09年12月126万6494台)に転じ、パチスロ復活、パチンコ低迷を裏付ける結果となった。店舗数については前年同月比で150店舗減でマイナス傾向は変わらない。<注>店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	198	+7
東北	479	+10
東京	415	+20
関東	1238	+43
中部	338	+14
近畿	577	+14
中国	211	+8
四国	106	+3
九州	541	+13
全国計	4103	+132

(2010年12月31日現在)

平成22年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,675	22	18	105 (8)	2,935,449	1,266,083	156	4,201,688
2月	11,663	24	35	107 (14)	2,936,932	1,262,269	156	4,199,357
3月	11,616	14	54	107 (16)	2,935,356	1,256,127	156	4,191,639
4月	11,630	31	30	97 (7)	2,945,673	1,257,110	156	4,202,939
5月	11,613	18	31	105 (15)	2,944,960	1,255,851	156	4,200,967
6月	11,586	11	28	108 (21)	2,942,377	1,253,175	156	4,195,708
7月	11,571	22	44	101 (12)	2,940,635	1,253,832	156	4,194,623
8月	11,556	23	35	101 (10)	2,941,292	1,254,681	156	4,196,129
9月	11,553	26	30	94 (9)	2,938,627	1,260,324	156	4,199,107
10月	11,539	14	25	98 (13)	2,932,592	1,263,043	156	4,195,791
11月	11,520	9	25	107 (19)	2,929,487	1,264,160	156	4,193,803
12月	11,522	34	43	86 (10)	2,926,898	1,276,552	156	4,103,606

代表者・工藤希仁
台東区東上野1・8・2
オイズミ東上野ビル西館9階
代表者・栗原弘樹
▼株式会社フアンタジスタ

新潟市中央区白山浦2・1・28
I T P 白山浦ビル2階
代表者・小池俊律
▼有限会社マティア
岡山市南区浜野2・5・7